

2060

どんな世界を創造できますか



電子機器

第五世代（現在） → 第六世代 → 第七世代



- ・ 正解は1つではない 別のやり方があってもいい
- ・ 心の底からわくわくドキドキすることをやる
- ・ 仮想世界VR・AR（バーチャル空間）と現実世界の両方で生きる（必要な人に広がる分身ロボット）
- ・ ロボットコミュニケーション時代
（誰でも使える『もう一つの身体』）

平成にはこんなことがありました





対応サービスの進化



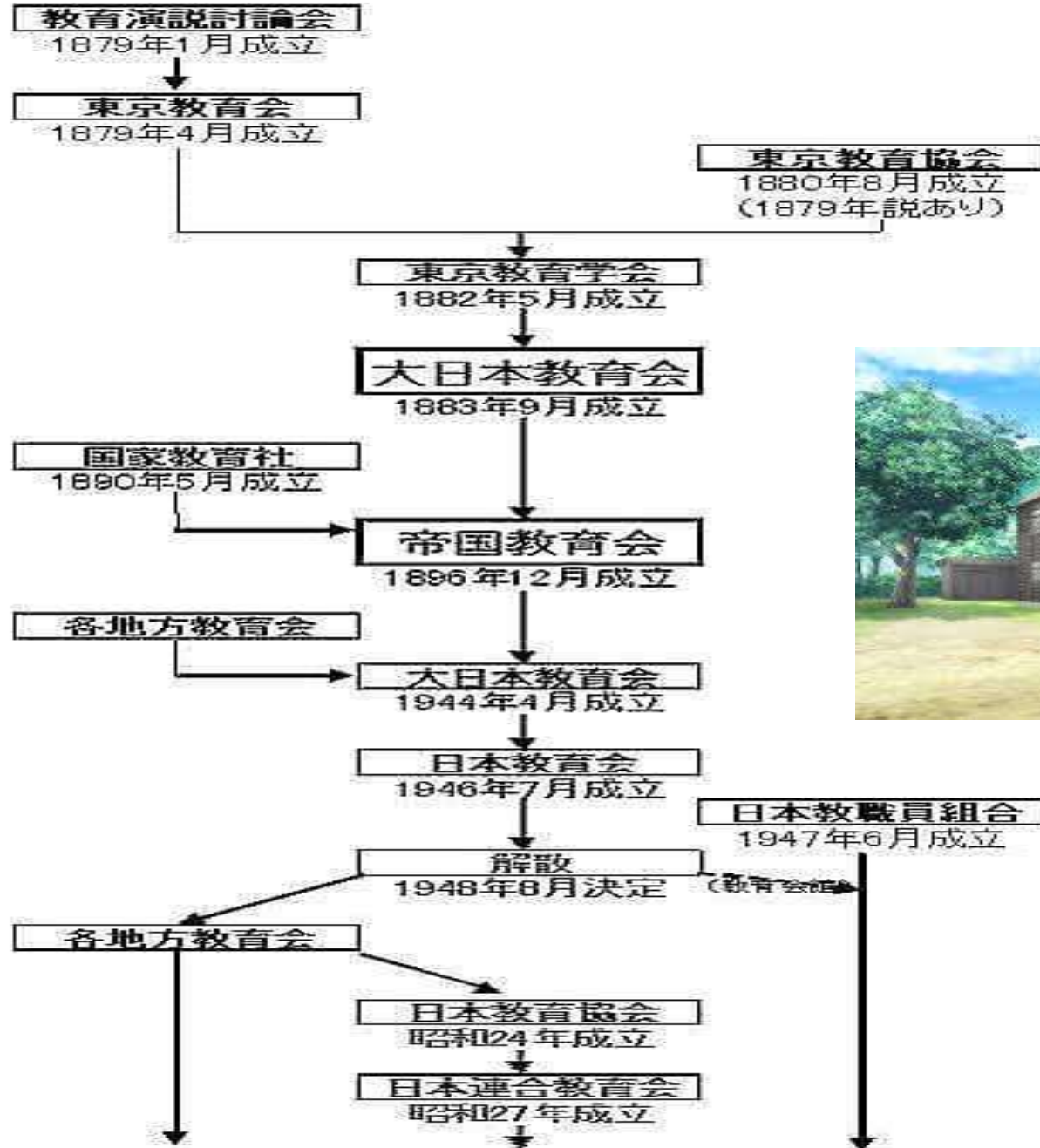
世界の時価総額ランキング

平成元年		令和元年		
	時価総額 (億ドル)	ランク		時価総額 (億ドル)
NTT	1,638	1	アップル	9,613
日本興行銀行	715	2	マイクロソフト	9,465
住友銀行	695	3	アマゾン	9,161
富士銀行	670	4	アルファベット (グーグル)	8,632
第一勧業銀行	660	5	パークシャー・ハサウェイ	5,164
IBM	647	6	フェイスブック	5,120
三菱銀行	593	7	アリババグループ	4,808
エクソン	549	8	テンセント	4,721
東京電力	545	9	JPモルガン・チエース	3,685
ロイヤルダッチ・シェル	544	10	ジョンソン・エンド・ジョンソン	3,662

上位10社時価総額： 7,256

64,031

図1:大日本教育会-帝国教育会沿革図



バイオやAIを知ろうとしない人に20年後の未来はない

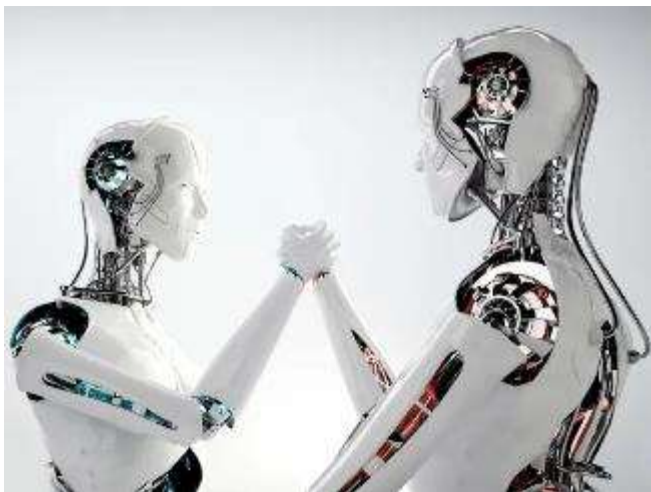
20年を振り返って

2001年の米国同時多発テロ、2011年の東日本大震災、人の人生観が揺らぐような出来事は他にも起きています。

直接的な被害を受けた人は世界から見れば限られる、事象が起きてからは、すぐに救出と回復が進んでいる。

今回、世界中の人に影響を与えているころな、出口がわからず。ライフスタイルも変えざるを得なくなっている、これからの生き方について考える時間も十分すぎるほどある。

おのずと価値観は変わっていきます。



学び直しつつ働き続けるリカレント教育

日本が良い方向へ進んでいた場合、例えば興味のある学問を学び直しつつ働き続けるリカレント教育も盛んになるでしょうし、高齢層も採用のターゲットとして重要な位置を占めてきます。

リカレント教育は、AIやロボットの台頭で多くの職業に人間が関わらなくなることと関係しています。コンピュータにはできない、専門性が高くクリエイティブな仕事をするためには、学び続けることも必要になるわけです。そして、学ぶことは何歳であっても喜びをも与えてくれます。



親の知らない時代を生きていく子どもたち。

新しい時代が求めるものを、自分のスキルとして習得できるようにグローバルに活躍できる真の21世紀型人財へと導き激動する世界、答えのない時代。



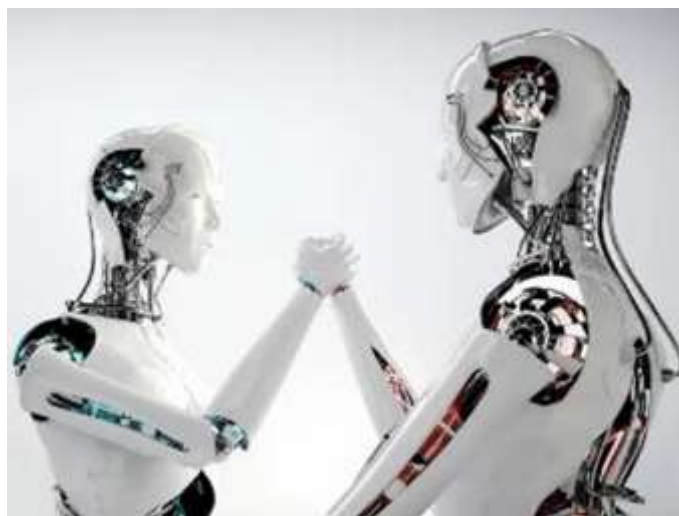
親の体験したことのない道を歩む子どもたちが迷うことなく力強い一歩を踏みせるように、未来へと導く道標になりたい。

正解は1つではない

別のやり方があってもいい
心の底からわくわくドキドキすることをやる

仮想世界と現実世界の両方で生きる
(必要な人に広がる分身ロボット)

ロボットコミュニケーション時代
(誰でも使える『もう一つの身体』)



2030年

キャッシュレスから決済レスの時代へ

2040年

AI（人工頭脳）が人間と同じ思考へ

2050年

ロボット経済バブルと仮想世界通しの本格化

2060年

人は仮想世界と現実世界の両方で生きる



オタクが予測する2060より

人類には2つの分かれ道が待ち受けています

ひとつは

テクノロジーが人類の味方をし、すべての人が平等、豊かで神のごとく暮らしている世界

もう一つは

一部の人間がAIを使って作り出す、取り返しのつかない格差社会
あなたは、どちらの世界へ向かっていきたいですか？

オタクが予測する2060より



どんな時間のパズルを想像する事ができますか？



正解はありません

ただ取り組めない人は何も変わらないことを理解しましょう

あなたが想像する40年後のくらしや将来
その未来の姿を絵やイラストで表現しよう！！



未来へと導く伝道師より

エニアグラム

水発電

